

松坂よしのり

議会報告

発行 千葉市議会議員 松坂 吉則 政務活動事務所

〒266-0011 千葉市緑区鎌取町230
TEL:043(291)2626 FAX:043(292)2882 Mail:matsuzaka1127@gmail.com

ごあいさつ

日頃より、私の政治活動にご理解賜り厚く御礼申し上げます。四月に皆様のお力で議席を預からせていただきました。あらためて皆様からお寄せいただきました要望や公約の実現に向け全力で取り組んでまいります。この度は、紙面は限られてはいますが議会報告を作成しました。
ぜひご一読いただければ幸いです。

千葉市議会議員 松坂 吉則

令和5年第二回定例会において一般質問を行いましたので一部ご紹介いたします。

1 学校給食費無償化について

学校給食費無償化のような多額の経費を要する子育て支援施策については、自治体による差が生じやすく、住む場所で不公平感がでることは好ましくないと考えます。そのため、政府や自民党が学校給食費無償化の検討を進めていることは良い取り組みであります。苦しい市の財政状況を考えますと国がこの議論をリードし財源を確保してくれることは望ましいと考えます。市が単独の予算で実現することも考えられますが、制度の永続性を考えますと、國の方針にあわせ制度設計することがベストだと考えます。

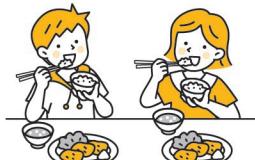
1. 給食費無償化についての本市の考え方について?

2. 国の方向性に沿って対応するのか?

3. 今後の給食費無償化のスケジュールについて?

回答 国の財政措置による具体的な方策が示された際は、無償化に向けて速やかに対応するという答弁がありました。これを機会に、ぜひとも國の方向性に沿って給食費無償化を進めていただくようお願いします。國から方策が示された際には、改めて、具体的なスケジュールを伺いたいと思います。

結果、前進しました。今後のスケジュールは改めて報告します。



2 防災対策について

昨今地震が頻発していますが、東日本大震災から12年がたちました。発災直後、議会でも防災・危機対策調査特別委員会が発足し、私も委員長として短期間で提言をまとめ提出しました。当時、大きな災害を経験した職員も少なく市役所も混乱し、液状化、火災、停電、断水など多くの課題に対応が遅れ、被害が拡大しました。災害時、国をはじめ、様々な行政機関による救助活動や支援が展開されますが、これら公助の取り組みには限界がありますので、一人ひとりの市民が、自ら様々な備えをしておくことは大変重要であると考えます。また、当時からインフラの被害想定や復旧スケジュールは大きな課題でありました。今後はインフラやライフライン関係機関、各社と平時からの連携体制を構築し、対応を強化していくことが重要な課題と考えています。

1. 市民自らは何を備えるべきなのか、市はそれをどのように周知しているのか?

2. ライフライン事業者との定期的な会議の開催状況など、どのように連携を行っているのか?

回答 市民が自ら災害に備えるべきことについて、様々な機会において周知を行っているとの答弁がありました。また、ライフライン事業者との定期的な会議については開催しませんが、今後、さらなる連携強化のため、会議を開催していくとの答弁がありましたので一步前進と考えます。



結果、前進しました。ライフライン、通信事業者との定期的な災害対策会議が開催されることになりました。

3 高齢者の移動手段確保について

バス路線の撤退や減便、商業施設の撤退などの社会情勢の変化もあり、高齢者の生活を支える移動手段がなく、通院や買い物などが困難となるなど、外出が困難なケースが増えています。また、コロナの影響でバス、タクシーなど交通事業者も運転手不足など経営が厳しくやむなく撤退する路線が増えています。近年は高齢者による運転事故が増加傾向にあり、免許の返納者も増えています。今後の超高齢化社会の到来を考えると、この問題は全庁的な課題でもあります。公共だけでこの課題を解決するのは厳しい状況あり、今後は地域、病院、大型店舗など民間を巻き込みこの移動手段の確保を考え検討すべきと思います。

1. 高齢者福祉の観点からどのようにとらえ、認識しているのか?
2. 福祉施策としてどのように取り組んできたのか?また、交通

政策など幅広く関わっている問題であり、関係する部局による全庁横断的な対策が必要だと考えるが、どのように取り組むのか?

回答 今後は全庁的な問題として捉え関係部局が連携し、実態の調査・研究などを含め、取り組むとの答弁でした。これまで「あって当たり前」だった、移動・交通手段がなくなることで、生活に支障が生じる例が最近特に増えています。今後は「新しい仕組みづくり」も視野に、特に総合政策局や将来的な視野を持つ部局が積極的にかかわり、横断的な連携をし、問題解決に向けた取り組みをお願いしました。

結果、前進しました。今後の課題解決に向け全庁的な対応と議論が進みます。



他にも農業従事者の育成と耕作放棄地についても一般質問いたしました。

1. 本市の農業経営体と荒廃農地の現状について?
2. 農業経営体の確保・育成に向けた取り組みについて?



詳しくはホームページをご覧ください。





議席をお預かりさせて頂いてから多くの要望を聞かせていただきました。
課題解決に向けて今後も活動してまいります。
現在進行中の事案、解決したものを紹介しています。



外房有料道路の無料化における渋滞地域の解消(鎌取交差点～辺田十字路・高田入口～高田インターなど)

辺田町7号線整備(辺田地区) 辺田十字路補助信号の改良(辺田地区) 平山小子どもルーム環境改善要望(平山、辺田、鎌取地区)

平山町50号、63号線整備(平山地区) 鎌取駅前ロータリー改修工事について 千葉市斎場周辺の緑地、広場整備

急傾斜地崩壊対策工事推進(下大和田地区) 街路樹や路側帯の樹木の適正管理(土気地区) 土気踏切存続について(土気地区)

土気踏切周辺道路の整備について(土気地区) 土気17号線整備促進(土気地区) 大網街道の歩道整備

公共交通不便地域等の新たな交通手段の実現 鎌取、誉田、土気各駅の周辺整備と利便性向上 身近な公園の適正管理

道路通行の障害となる街路樹、樹木などの管理

その他、多くの要望を頂いています。

鎌取駅前広場(北口、南口)が改修工事に入ります。

私の前任の森前議員と我々自民党市議団が要望していました、鎌取駅南口駅前広場・ロータリー改修工事が令和5～6年度にかけて実施されます。完成予定は令和7年3月です。また、鎌取駅北口ロータリーも改修工事が今年度行われます。



本音をズバリ!!

自由民主党千葉市議会議員団だからできる地域課題解決。

今回は、小中学校のエアコン設置についてです。

実は、皆様のご要望に応えるためにはその事業の財源(税金)が必要です。

例えば、小中学校にエアコン導入した経緯です。当時の千葉市では小中学校にエアコンを導入するには財政的に困難な状況にありました。自民党市議団は国と連携していますので、当時の文部科学大臣に予算要望を繰り返しお願いし、エアコン設置が実現しました。当時私は市議団の幹事長でありまして市、国とともにこの問題の実現に奔走しました。しかしながら予算にも賛成しない会派が実現するといかも自分が実現したかのようにアピールしています。つまり予算に賛成しないと実現したことにならないわけです。私の考える議会は地域のために千葉市のために良いことは全議員が会派の垣根を超えて推進することだと考えています。

我々自民党会派は市長と連携し計画的に効率的にこのような事案を推進しています。ですから地域課題を効率よく最短で解決できるのです。皆様方から頂いた要望は一人の議員の課題だとは考えていません。むしろ他の議員の協力が必要と考えています。

地味ではありますが、自民党市議団は地域要望解決に向けこれからも走り続けます。

所属委員会について

第二回定例会で都市建設委員会委員長に就任しました。地域の諸問題(道路、河川、下水、交通政策など)が担当でありますので、この機会にご要望いただければ幸いです。また、今議会の都市建設委員会の年間調査テーマを空き家対策とし、各地で進む空き家の現状と対策を検討していくこととなりました。特に緑区や若葉区では空き家が多く課

題で高齢化による相続の問題も絡み、大変厳しい対応を迫られています。固定資産税、解体費用など色々な問題が幅広くあるため時間の掛かる問題です。しかしながら、都市が開発され、半世紀が過ぎますとこの問題が現実的な事実になってまいります。

千葉市議会議員 松坂 吉則 政務活動事務所

〒266-0011 千葉市緑区鎌取町230 TEL:043(291)2626 FAX:043(292)2882 Mail:matsuzaka1127@gmail.com

松坂よしのり 検索

<https://y-matsuzaka.com/>



・明治大学大学院公共政策学修士課程修了(公共政策学修士)
・國務大臣政務秘書官(金融相付)を任命される。
・千葉市議会 初代、防災危機対策調査特別委員会の委員長
を任命され、議会において、災害復旧・災害対策を推進。

・総務委員会委員長、都市建設委員会委員長、
教育未来委員会委員長、議会運営委員会委員長を務める。
・自由民主党千葉市議会議員団幹事長
・流通経済大学法学部自治行政学科客員講師

・社会福祉法人 評議員
・医療法人 顧問
・現在、民間企業の役員、経営コンサルタントとして活動中
・千葉市議会議員4期目 都市建設委員会委員長